

〈報道資料〉

2010年1月29日(金)

フィアスホーム『LUCE』 大賞受賞 ～ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック 2009～

株式会社トステム住宅研究所
フィアスホームカンパニー

トステムやINAXなどの事業会社を擁する株式会社住生活グループ傘下で、住宅FCを全国に展開している株式会社トステム住宅研究所 フィアスホームカンパニー(東京都江東区亀戸 1-5-7/フィアスホームカンパニー プレジデント:条生秀人)は、この度、財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)主催の表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック 2009」において、太陽光発電搭載・電気自動車対応住宅の『LUCE(ルーチェ)』が、省エネ・省CO₂に極めて優れていると評価され、最高賞の大賞を受賞しました。

受賞商品『ルーチェ』は、夏涼しく冬暖かい気密・断熱性に優れた「閉じる技術」、風・光といった自然エネルギーを活用した「開ける技術」(“少”エネルギー技術)に加え、「太陽光発電システム」で住宅に必要な電気を発電する技術(創エネルギー技術)と電気自動車を組合せることで、さらなるECO生活を提案する住宅です。

また、省エネ性能を「eレポート」・「性能報告書」等で「見える化」し、ユーザーに分かりやすく提案する仕組みを取り入れております。



〈大賞受賞商品「ルーチェ」外観写真〉

なお、2010年2月16日(火)、東海大学交友会館にて、「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック 2009」受賞作品の表彰式が行われる予定です。

■ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリックとは

財団法人日本地域開発センターが主催する省エネルギー住宅のトップランナーを表彰する制度で、2007年度に創設されて以来、毎年、省エネ・少CO₂に優れたオール電化住宅が表彰されています。オール電化住宅の中から、「外皮・設備の省エネルギー性能値」「トータルな省エネルギー性能向上のための工夫と先進性」「他の性能と省エネルギー性とのバランス・連携」「省エネ住宅の普及に関わる取組」といった視点でスマート(省エネ・少CO₂に優れた)住宅を選定し表彰することによって、国の環境政策と省エネルギーに寄与すると共に、オール電化住宅の普及と性能向上を目指しています。(財団法人日本地域開発センターのパンフレットより)



(審査員の選評)

フィアスホームの大賞受賞について

「躯体の優れた断熱性能に加え、高効率のエアコンにより暖冷房エネルギー消費量が大幅に低減されています。さらに、高効率の給湯器および各種節湯器具の採用、照明の省エネ措置など、幅広く省エネ化が図られている点も高く評価されました。気密・結露防止などへの配慮や、性能報告書や通風採光シミュレーションなど普及・啓発のための取組みにも優れ、大賞にふさわしい商品といえます。」

※この件に関する報道関係者様からのお問い合わせは下記までお願い致します。

㈱トステム住宅研究所 広報・宣伝室

電話: 03-5626-8251

広報担当: 山口まで

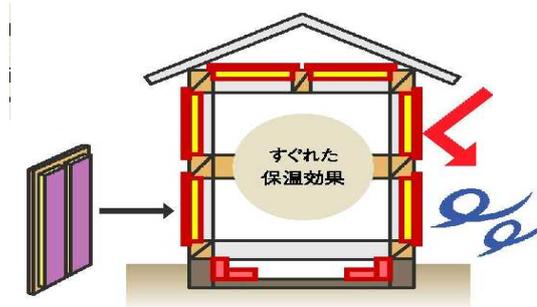
大賞受賞 フィアスホーム『LUCE(ルーチェ)』商品特長

『LUCE(ルーチェ)』は、「省エネから“少”エネ・創エネへ」をコンセプトに開発した商品。長期にわたって「少エネ」を実現する為に、4つの段階(仕様決定⇒設計⇒施工⇒居住)に分け、全ての段階で品質を確保する工夫を施しています。優れた「少エネ」のベースとなるのは、オリジナル断熱材一体型パネル「eパネル」による“高気密・高断熱技術(=閉じる技術)”、風・光等の自然エネルギーを活用する“風と光のデザイン(=開ける技術)”です。さらに踏み込んで、太陽光発電システム(=「創エネ」)と電気自動車を組合せることでECO生活を実現する概念として、『エネルギー循環型システム』を提案しています。

●閉じる技術 ～高気密・高断熱～

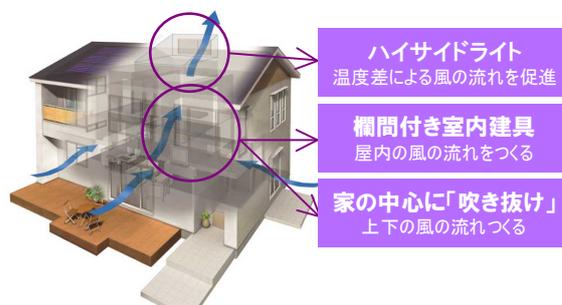
次世代省エネ基準に対応した高気密・高断熱躯体として、フィアスホームオリジナルの高性能断熱材一体型パネル「eパネル」を標準仕様に設定。

我慢して電気の使用を省くのではなく、外気による影響を抑えて冷暖房効率を高めることで快適性とECO生活を両立します。



●開ける技術 ～風と光のデザイン～

春や秋には、自然の力を活かした「開ける技術」として、ハイサイドライトサッシ・欄間付き室内建具・吹き抜けによる自然換気や温度差換気等で、できるだけエアコンや人工照明に頼らないECO生活への配慮を施しています。



●創エネルギー技術 ～太陽光発電システム～

“電気を創る”太陽光発電システム(3.29kw)を標準採用。電気を全て買う暮らしから、自分の家で電気を創り、余った電気を電力会社に売るゆとりある生活を提案しています。



「eレポート」・「性能報告書」

●性能の見える化

省エネ効果を、冷暖房費・CO₂削減量に置き換えて提案する「eレポート」と、建物の断熱性や気密性を邸別でお客様に提示する「性能報告書」により、性能の見える化を邸別で実施しています。

●『エネルギー循環型システム』の概念

太陽光発電システムで創った電気を電気自動車へ充電できる200Vコンセントを標準採用。

さらには、太陽光発電システムで創ったエネルギーを家と自動車双方向に使う将来のECO生活を業界に先駆けて提案しています。



「エネルギー循環型システム」の概念図